

令和3年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(令和2年度事業対象)

令和3年11月
石垣市教育委員会

石垣市教育事務点検評価報告書の議会への提出及び公表について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、令和 2 年度における教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を行い、教育に関し石垣市教育委員会が認めた学識等の経験を有する者の意見を付して報告します。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

目次

はじめに	1
1 教育委員会の活動	2
令和2年度 教育委員会活動状況一覧表	3
令和2年度 教育委員会会議開催状況一覧表	4
2 教育事務点検評価	10
令和3年度 教育事務（令和2年度事業）点検評価結果一覧表	10
登下校防犯カメラ整備事業	11
学校施設耐震診断事業	12
適応指導教室費	13
教員採用試験対策事業	14
学力向上対策費	15
へき地教育対策費	16
気になる子のすこやかな学び支援事業	17
「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業	18
公民館管理費	19
文化会館管理費	20
不登校対策等支援員配置モデル事業	21
旧宮良殿内保存修理事業	22
宮良殿内庭園保存修理事業	23
市史編集事業費	24
石垣市史 戦後開拓移民 編集・発刊事業	25
八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業	26
調理業務等民間委託業務	27
移動図書館	28
耳学問	29
3 外部評価委員による総評	30
【資料】	
令和2年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系	34
令和2年度 石垣市教育委員会組織機構図	35
石垣市教育事務点検評価実施要綱	36

はじめに

石垣市教育委員会では、①自ら学ぶ意欲を育て、学力向上を目指すとともに、創造性に富む幼児・児童・生徒を育成する。②平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な市民を育成する。③学校・家庭・地域社会相互の連携及び協力のもと、時代の変化に対応し得る教育の方途を求め、生涯学習社会の実現を図る。を教育目標に教育行政を推進しています。

その目標を推進する施策として、教育委員会各課等において令和2年度に実施した事業の中から19事業を選定し、今年度の点検評価を行いました。

評価の方法は、各担当課が事業執行概要等を評価シートとして作成し、教育事務点検評価委員会で内容等の点検及び内部評価を行い、その後、学識経験者で構成される外部評価委員会による各課ヒアリングを実施し、事業ごとに外部評価を付していただきました。

その結果、外部評価委員から19事業中18事業が計画通り又は計画以上に執行されているという評価を受けましたが、評価の中身においては、多くの事業で様々なご指摘とご提言をいただいています。

これらの貴重なご意見を真摯に受け止め、今後の教育行政の推進に反映させるよう努めてまいります。

この報告書は、評価の結果と教育委員会の活動状況をまとめ、議会に提出するとともに、公表することで市民への説明責任を果たし、教育行政の質の向上を図ることを目的に作成したものです。

今後とも市民の皆様の教育行政へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

石垣市教育委員会教育長及び委員

職名	氏名	任期	備考
教育長	石垣 安志	自 平成28年4月1日 至 令和4年3月31日	
教育長職務代理者	金城 綾子	自 平成29年4月1日 至 令和7年3月31日	
委員	浦内 克雄	自 平成29年12月19日 至 令和3年12月18日	
委員	大道 夏代	自 平成29年12月19日 至 令和3年12月18日	
委員	南 和秀	自 平成31年4月1日 至 令和5年3月31日	

石垣市教育事務点検評価外部評価委員

氏名	備考
新崎 洋子	元石垣市立小学校長
大得 英信	元石垣市部長

1 教育委員会の活動

(1) 教育委員会の会議等の状況

石垣市教育委員会においては、教育委員会の会議を毎月1回以上開催し、事務局と連携しながら施策を推進してきました。

教育委員会の会議は、原則として毎月第4金曜日に定例会を、必要に応じて臨時会を開催しています。令和2年度は定例会12回、臨時会5回の計17回の会議を開催しました。

また、沖縄県市町村教育委員会連合会や八重山地区市町教育委員会協議会の総会・研修会等に参加し、他市町村の教育委員と意見交換を行い、教育委員会が直面する課題等について情報を共有し、教育行政について研鑽を積むことができました。

(2) 審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第25条及び石垣市教育委員会の権限に属する事務の一部委任等に関する規則第2条の規定に基づき、計97件の議案を審議しました。

(3) その他の活動状況

行事・大会等への参加

- ・市立小中学校入学式
- ・市立小中学校運動会・学習発表会・研究発表会等
- ・市立小中学校訪問（授業・校内視察及び意見交換）
- ・市立教育研究所入所式・研究成果報告会
- ・石垣市成人式
- ・石垣市生涯学習フェスティバル
- ・石垣市自治公民館研究大会
- ・市主催行事（市制施行記念式典）

令和2年度 教育委員会活動状況一覧表

月	会議		その他の活動
	教育委員会	その他	
4月	・定例会		・各小中学校入学式
5月	・定例会		
6月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会連合会定期総会（書面決議）	
7月	・臨時会 ・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（名護市）【欠席】	
8月	・臨時会 ・定例会		
9月	・定例会		
10月	・定例会	・沖縄県市町村教育委員会研修会（那覇市）【中止】 ・九州都市教育長協議会（鹿児島市）【中止】	・教育研究所入所式 ・学校訪問（登野城小） ・学校訪問（川平小中） ・学校訪問（宮良小）
11月	・定例会	・八重山地区市町教育委員会協議会全体会・研修会（石垣市）	・学校訪問（八島小・あまかわ幼） ・学校訪問（白保中） ・学校訪問（明石・あかし幼）
12月	・定例会		
1月	・定例会	・沖縄県都市教育長協議会（WEB開催）	・学校訪問（大本小）
2月	・定例会 ・臨時会	・市町村教育委員会委員・教育長研修会（那覇市）【中止】	・生涯学習フェスティバル
3月	・臨時会 ・臨時会 ・定例会		・教育研究所成果報告会・修了式 ・各小中学校卒業式 ・石垣市成人式

令和2年度 教育委員会会議開催状況一覧表

区分	開催回数	付議件数	主な内容
定例会	12回	86件	<ul style="list-style-type: none"> ・教育に関する基本的な方針に関すること。 ・規則、規程、要綱等の制定改廃に関すること。 ・教育委員会事務局、教育機関の人事（幼稚園、小中学校含む）に関すること。 ・教育予算に関すること。 ・附属機関等の委員の任命・委嘱に関すること。
臨時会	5回	11件	
計	17回	97件	

開催回数	開催日	議案番号	議案名	摘要
第1回定例会	4月27日	議案第1号	石垣市立適応指導教室設置要綱の一部を改正する要綱について	修正可決
		議案第2号	石垣市社会教育委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第3号	学校施設の使用に関する協定の締結について（新川小学校）	承認
		議案第4号	臨時代理の承認を求めることについて（会計年度任用職員制度に伴う関係規則の整備に関する規則）	承認
		議案第5号	臨時代理の承認を求めることについて（会計年度任用職員制度に伴う関係要綱の整備に関する要綱）	承認
		議案第6号	臨時代理の承認を求めることについて（会計年度任用職員制度に伴う関係規程等の整備に関する規程）	承認
		議案第7号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則）	承認
		議案第8号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市就学支援委員会条例施行規則の一部を改正する規則）	承認
		議案第9号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市特別支援教育支援員派遣検討委員会設置要綱及び石垣市特別支援教育就学奨励費給付要綱の一部を改正する要綱）	承認
		議案第10号	臨時代理の承認を求めることについて（令和2年度一学期における給食費助成の特例に関する要綱）	承認
第2回定例会	5月22日	議案第11号	令和2年度における石垣市立小学校及び中学校の学期並びに休業日の特例に関する規則の制定について	原案可決
		議案第12号	令和2年度一学期における給食費助成の特例に関する要綱の一部を改正する要綱について	原案可決
		議案第13号	石垣市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	原案可決

第2回 定例会	5月22日	議案第14号	学校施設の使用に関する協定の締結について (新川小学校、石垣小学校、登野城小学校、平真小学校、真喜良小学校、名蔵小学校及び川平小学校)	承認
		議案第15号	令和2年度石垣市一般会計補正予算(第2号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第16号	教科用図書八重山採択地区協議会への諮問について	承認
		議案第17号	教科用図書八重山採択地区協議会委員の選任について	2人選任
		議案第18号	臨時代理の承認について(令和2年度石垣市一般会計補正予算(第1号))	承認
第3回 定例会	6月26日	議案第19号	石垣市立幼稚園の休業日の特例に関する規則の制定について	原案可決
		議案第20号	新石垣市立八重山博物館(仮称)建設事業部内検討会議設置要綱の制定について	原案可決
		議案第21号	石垣市立八重山博物館資料特別利用要綱の制定について	原案可決
		議案第22号	訪問型家庭教育支援員の自家用車の公務使用に関する規程の制定について	原案可決
		議案第23号	石垣市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する規程について	原案可決
		議案第24号	令和2年度石垣市立学校給食センター運営委員会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第25号	石垣市立図書館協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第26号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の締結について(真喜良小学校及び八島小学校))	承認
第4回 臨時会	7月17日	議案第27号	石垣市立幼稚園保育料に関する条例施行規則の全部改正について	原案可決
		議案第28号	臨時代理の承認を求めることについて(地方創生臨時交付金による石垣市児童生徒の市外派遣に関する補助金交付要綱)	承認
		議案第29号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の締結について(石垣小学校))	承認
		議案第30号	臨時代理の承認を求めることについて(学校施設の使用に関する協定の締結について(大浜中学校))	承認
第5回 定例会	7月21日	議案第31号	石垣市立幼稚園の学級編制の特例に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第32号	令和3年度石垣市立幼稚園園児募集基本方針の承認を求めることについて	承認

第5回 定例会	7月21日	議案第33号	石垣市学校給食会計公会計導入検討会議設置要綱の制定について	原案可決
		議案第34号	令和元年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出決算の承認を求めることについて	承認
		議案第35号	令和2年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出補正予算(第1号)の承認を求めることについて	承認
		議案第36号	学校施設の使用に関する協定の締結について(野底小学校)	承認
		議案第37号	学校施設の使用に関する協定の締結について(富野中学校)	承認
		議案第38号	石垣市教育事務点検評価委員会外部評価委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
第6回 臨時会	8月11日	議案第39号	令和3年度使用中学校教科用図書の採択について	採択
		議案第40号	2021年度使用中学校教科用図書の選定・採択に関する請願について	不採択
		議案第41号	2021年度使用教科書の採択に関する請願について	不採択
第7回 定例会	8月26日	議案第42号	石垣市奨学基金条例施行規則の一部を改正する規則について	原案可決
		議案第43号	石垣市放課後子ども事業協議会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第44号	令和2年度石垣市一般会計補正予算(第7号)案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第45号	教育財産の目的外使用(変更)の承認を求めることについて(伊原間中学校)	承認
		議案第46号	教育財産の目的外使用の承認を求めることについて(宮良小学校)	承認
		議案第47号	教育財産の目的外使用の承認を求めることについて(川平小中学校)	承認
第8回 定例会	9月25日	議案第48号	石垣市修学旅行サポート事業実施要綱の制定について	原案可決
		議案第49号	石垣市修学旅行サポート事業補助金交付要綱の制定について	原案可決
		議案第50号	石垣市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第51号	学校施設の使用に関する協定の締結の承認を求めることについて(白保中学校)	承認
第9回 定例会	10月23日	議案第52号	石垣市平得公民館施設長寿命化検討委員会設置要綱の制定について	原案可決
		議案第53号	石垣市文化財審議会への諮問の承認を求めることについて(世持井戸)	承認

第9回 定例会	10月23日	議案第54号	学校施設の使用に関する協定の締結の承認を 求めることについて（石垣中学校）	承認
		議案第55号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣 小学校校舎新增改築工事（建築）の工事請負 契約に係る議案の議会提出）	承認
		議案第56号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣 小学校校舎新增改築工事（機械）の工事請負 契約に係る議案の議会提出）	承認
		議案第57号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣 小学校校舎新增改築工事（電気）の工事請負 契約に係る議案の議会提出）	承認
第10回 定例会	11月25日	議案第58号	令和3年度石垣市教育委員会（幼稚園教諭） 人事異動方針の承認を求めることについて	承認
		議案第59号	令和3年度石垣市教育委員会人事異動方針の 承認を求めることについて	承認
		議案第60号	学び遊び学級実施委託要綱の一部を改正する 要綱について	原案可決
		議案第61号	石垣市立学校給食センター調理業務等委託検 証委員会設置要綱の一部を改正する要綱につ いて	原案可決
		議案第62号	石垣市指定文化財の指定について（世持井戸）	承認
		議案第63号	大濱信泉記念館指定管理者の指定に関する議 案の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第64号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求 めることについて（市立小中学校楽器購入事 業に関する備品）	承認
		議案第65号	財産の取得に係る議案の議会提出の承認を求 めることについて（遠隔授業に備えた大型掲 示装置に関する備品）	承認
		議案第66号	令和2年度石垣市一般会計補正予算（第9号） 案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第67号	令和2年度石垣市立学校給食センター給食会 計歳入・歳出補正予算（第2号）の承認を求 めることについて	承認
議案第68号	令和2年度石垣市教育事務点検評価報告書 （令和元年度事業対象）の承認を求めること について	承認		
第11回 定例会	12月25日	議案第69号	石垣市立学校の教育職員の業務量の適切な管 理その他教育職員の健康及び福祉の確保を 図るための措置に関する規則の制定について	原案可決
		議案第70号	石垣市立学校の教育職員の勤務時間の上限に 関する方針の承認を求めることについて	承認
第12回 定例会	1月27日	議案第71号	石垣市立学校設置条例の一部を改正する条例 の議会提出の承認を求めることについて	承認
		議案第72号	教育財産の移管の承認を求めることについて	承認

第12回 定例会	1月27日	議案第73号	臨時代理の承認を求めることについて（教育財産の取得（移管）について）	承認
		議案第74号	臨時代理の承認を求めることについて（学校施設の使用に関する協定の締結について（白保小学校））	承認
第13回 定例会	2月18日	議案第75号	令和3年度石垣市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第76号	石垣市教育 ICT 環境整備指針の承認を求めることについて	承認
		議案第77号	石垣市文化財審議会への諮問の承認を求めることについて（名蔵瓦窯跡）	承認
		議案第78号	令和2年度石垣市一般会計補正予算（第12号）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第79号	令和3年度石垣市一般会計予算（教育予算）案提出の承認を求めることについて	承認
		議案第80号	臨時代理の承認を求めることについて（石垣市成人式開催に伴う新型コロナウイルス感染症検査業務実施要綱）	承認
		議案第81号	臨時代理の承認を求めることについて（令和2年度石垣市一般会計補正予算（第11号））	承認
第14回 臨時会	2月22日	議案第82号	令和3年度県費教職員（管理職を除く）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
		議案第83号	令和3年度県費教職員（管理職）人事異動内申の承認を求めることについて	承認
第15回 臨時会	3月1日	議案第84号	令和3年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭等）定期人事異動の内示の承認を求めることについて	承認
		議案第85号	令和3年度教育委員会学校関係職員（幼稚園教諭を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
第16回 臨時会	3月19日	議案第86号	令和3年度教育委員会事務局・教育機関（学校を除く）定期人事異動内示の承認を求めることについて	承認
第17回 定例会	3月26日	議案第87号	令和3年度石垣市幼稚園医、幼稚園歯科医及び幼稚園薬剤師の委嘱の承認を求めることについて	承認
		議案第88号	学校施設使用に関する協定の締結について（石垣小学校、新川小学校、野底小学校、伊野田小学校、白保小学校及び宮良小学校）	承認
		議案第89号	教育部総務課の名称変更に伴う関係規則の整備に関する規則について	原案可決
		議案第90号	教育部総務課の名称変更に伴う関係要綱の整備に関する要綱について	原案可決
		議案第91号	教育部総務課の名称変更に伴う関係規程の整備に関する規程について	原案可決

第17回 定例会	3月26日	議案第92号	石垣市医療的ケア児支援事業実施要綱の制定について	原案可決
		議案第93号	(仮称)新石垣市立八重山博物館建設検討有識者会議設置要綱の制定について	原案可決
		議案第94号	令和3年度石垣市教育委員会教育主要施策体系の承認を求めることについて	否決 (再検討)
		議案第95号	令和3年度石垣市学校医委嘱の変更の承認を求めることについて	承認
		議案第96号	教育財産の目的外使用の承認を求めることについて(伊原間中学校、平久保小学校、伊野田小学校及び白保中学校)	承認
		議案第97号	令和3年度石垣市立学校給食センター給食会計歳入・歳出予算の承認を求めることについて	承認

2 教育事務点検評価

令和3年度 教育事務（令和2年度事業）点検評価結果一覧表

番号	事業名	新規	沖振交	担当課	内部評価	外部評価	頁
1	登下校防犯カメラ整備事業	○		総務課	A	A	
2	学校施設耐震診断事業			学務課	A	A	
3	適応指導教室費			学校教育課	A	A	
4	教員採用試験対策事業			学校教育課	S	S	
5	学力向上対策費			学校教育課	A	A	
6	へき地教育対策費			学校教育課	A	A	
7	気になる子のすこやかな学び支援事業		○	学校教育課	A	A	
8	学ぶ意欲・わかる授業を支援する事業		○	学校教育課	A	A	
9	公民館管理費			いきいき学び課	B	B	
10	文化会館管理費			いきいき学び課	A	A	
11	不登校対策等支援員配置モデル事業			いきいき学び課	A	A	
12	旧宮良殿内保存修理事業			文化財課	B	B	
13	宮良殿内庭園保存修理事業			文化財課	A	B	
14	市史編集事業費			市史編集課	A	A	
15	石垣市史戦後開拓移民編集・発刊事業			市史編集課	B	B	
16	八重山博物館所蔵資料修復及び整理活用事業			博物館	A	A	
17	調理業務等民間委託業務			学校給食センター	A	A	
18	移動図書館			図書館	A	A	
19	耳学問			図書館	A	A	

沖振交：沖繩振興一括交付金

評価	内部評価	外部評価
S：計画以上(101%以上)	1事業	1事業
A：計画通り(70～100%)	15事業	14事業
B：ある程度計画通り(50～69%)	3事業	4事業
C：あまりうまくいっていない(30～49%)	0事業	0事業
D：うまくいっていない(29%以下)	0事業	0事業

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	教育総務課				
事務事業名	登下校防犯カメラ整備事業							
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)						
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の整備充実						
【事業概要】								
(1)対象	児童生徒、学校職員及び地域							
(2)目的	防犯カメラ未整備の学校へ防犯カメラを設置することにより、安心安全な学校づくり、地域づくりを目指す。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	防犯カメラの設置を希望する学校に防犯カメラを設置する。							
(4)成果目標	防犯カメラの設置について希望調査を行い、希望校へ防犯カメラを設置する。							
(5)根拠法令等	登下校防犯プラン(文部科学省通知)							
【事業実績・目標】								
令和2年度実績	決算額	3,278 千円		令和元年度実績	決算額	0 千円		
防犯カメラ設置工事 3か所(富野小中学校、名蔵小中学校、吉原小学校)			なし					
請負金額:3,278,000円								
令和元年度に実施した調査により、富野小中学校、名蔵小中学校、吉原小学校より防犯カメラの設置希望があったため、当該3校の正門に防犯カメラを設置した。			令和3年度目標			予算額	68 千円	
			防犯カメラ未整備校へ聞き取りを行い、新たな防犯カメラの整備の必要性について検討する。 (今年度の予算額については、電気代等のランニングコストのみ)					
【点検評価】								
区分	評価の説明				評価凡例			
内部評価	【成果・課題・改善方法】 防犯カメラの設置について希望する学校3校へ防犯カメラを取り付けることができた。これにより、安心安全の学校づくり、地域づくりに寄与できるものとする。 なお、まだ未整備校があるため、聞き取りを行い、新たな防犯カメラの整備の必要性について検討する必要がある。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いっていない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)			
	A							
外部評価	「希望する学校への防犯カメラ設置」という目的が完了できたことは評価できる。防犯カメラの設置は犯罪防止策として効果があり、児童生徒の安心・安全を図るうえでもしっかりと設置することが望ましい。未設置校についても連携をとり、設置を希望しない理由の把握や未設置の際の責任の所在等に留意しつつ設置に向けて取り組んでもらいたい。							
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	学務課			
事務事業名	学校施設耐震診断事業						
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実					
	施策項目	(2) 学校及び社会教育の施設・設備の充実					
【事業概要】							
(1)対象	旧耐震基準で建築された学校施設。						
(2)目的	旧耐震基準で建築された学校施設の耐震性の確保。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	耐震診断を行い耐震性無しと診断された学校施設は、耐震改修工事が必要とされるため耐震改修設計を行う。						
(4)成果目標	耐震改修工事を行うための設計業務の完了。						
(5)根拠法令等	建築基準法及び石垣市耐震改修促進計画。						
【事業実績・目標】							
令和2年度実績	決算額	3,467 千円		令和元年度実績	決算額	4,617 千円	
令和2年5月 石垣中学校14号棟耐震改修設計業務委託: 契約 令和2年11月 石垣中学校14号棟耐震改修設計業務委託: 完了			令和元年10月 石垣中学校14号棟耐震診断業務委託: 契約 令和2年3月 石垣中学校14号棟耐震診断業務委託: 完了				
令和元年度に実施した耐震診断の調査結果で、耐震性無しと判断されたことにより、耐震改修工事を行うための設計業務を行った。			令和3年度目標		予算額	102,200 千円	
			石垣中学校14号棟耐震改修工事(地震防災対策事業)の実施				
【点検評価】							
区分	評価の説明						評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】						S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまく いっていない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)
	A	事業対象となる「石垣中学校14号棟」は、令和元年度に耐震診断を行い、その調査結果に伴い令和2年度には、耐震改修設計業務委託を行い完了している。 令和3年度は本事業を引き継ぎ、地震防災対策事業にて耐震改修工事行っていく。					
外部評価	本事業が計画的に推進され、対象校の耐震改修設計がなされたことは評価できる。引き続き耐震改修工事も計画どおりに実施していただきたい。今後は、旧耐震基準の学校及び棟の把握を正確に行って改善計画をしっかりと立案し、財政当局に子どもの命の重要性を訴え最優先で予算確保に努めてほしい。						
	A						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	適応指導教室費				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実 3 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成			
	施策項目	(7) 個性を大切にせる教育の推進 (6) 不登校対策支援の推進			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校に在籍する心因性の不登校児童生徒				
(2)目的	不登校児童生徒に対し、適応指導教室(あやばに学級)にて、自立心を高め、社会性を身につけさせるための援助指導を行い、学校適応を図る				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	心因性不登校児童生徒を個別指導、グループ指導をとおして体験(自然・社会)学習を行い、人間関係づくりやふれあいを深めさせ、仲間意識、集団適応能力を高め、社会性を育てる				
(4)成果目標	不登校児童生徒に対し、自立心を高め、社会性を身につけさせるための援助指導を行い、学校適応を図る				
(5)根拠法令等	義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律 石垣市市立適応指導教室設置要綱・石垣市第4次総合計画後期基本計画第3章はぐくむ				
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	6,030 千円	令和元年度実績	決算額	4,963 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援 小学校 8名 ・不登校支援 中学校 5名 (中学3年生2名のうち、2名進学) (学校復帰 1名) ・体験通級 16名 ・毎週水曜日の調理実習や様々な体験活動を計画的に実施 ・原籍校のカリキュラムに基づく個に応じた学習支援 ・令和2年度沖縄県適応指導教室連絡協議会講演会(定員90名)を開催 			<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援 小学校 6名 ・不登校支援 中学校 7名 (中学3年生3名のうち、3名進学) (学校復帰 2名) 		
			令和3年度目標	予算額	6,512 千円
			<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジ登校児童生徒支援(原籍校との連携及び学校訪問) ・学校訪問等での支援説明や積極的支援要請の呼びかけ ・学校復帰数の向上 		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	朝の「みどりタイム」、昼休みのレクなど、清掃やスポーツで体を動かす活動を通して、級友との交流が深まり安定した通級につながった。個別の教育支援計画の作成や連絡ファイルの受渡しにより、家庭、学校、あやばに学級が互いの立場で通級児童生徒に支援することができた。在籍する中学校3年生全員が進学できた。 今後、心因性不登校の児童生徒が対象のため、臨床心理士などの専門家から指導助言を得る機会の設定し、通級児童生徒の支援の仕方の助言を得ていきたい。			
外部評価	個に応じた支援体制が整えられ、計画的な支援指導が図られたことは評価したい。在籍した中学3年生が全員進学できたことは喜ばしいことであり、進学後の通学にも繋がっているのなら、その成果は今後の指導にも活かせる。専門家からの指導等を得る機会は支援員や保護者にとっても重要なことであり、専門家の常態的な確保に向け総合教育会議等においても強く訴えてほしい。また、心因性の認識について全校で統一した見解で対応するため、医療機関や臨床心理士との連携をしっかりと取ってもらいたい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	教員採用試験対策事業(沖振交事業)				
施策体系	主要施策	7 新しい時代を展望した教育行政の充実(教育行政の充実)			
	施策項目	(4) 教員採用試験対策事業の充実			
【事業概要】					
(1)対象	教員免許状を有し、石垣市内での教職を希望する者				
(2)目的	島内において教員採用試験対策講座を開設し、多くの採用試験合格者を輩出させ、教育を担う人材の育成を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験石垣市直前対策講座【令和2年度前期】の実施 ・教員採用試験二次試験対策講座の実施 ・令和3年度実施の採用試験向け、教員採用試験対策講座【令和2年度後期】の実施 				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験合格者数15人以上 ・講座満足度80%以上 				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	1,862 千円	令和元年度実績		
			決算額		
			2,113 千円		
<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験直前対策講座【令和2年度前期】を、令和2年4月～7月実施。 (受講者49人、一次試験合格者20人、講座に大いに満足は受講者の94%) ・教員採用試験二次試験対策講座を、令和2年8月～9月で実施。 (受講者19人、最終合格者17人、講座に大いに満足は受講生の100%) ・教員採用試験対策講座【令和2年度後期】を、令和2年11月～2021年3月で実施。 (受講者32人、講座に大いに満足は受講者の92%) 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員採用試験直前対策講座(令和元4月～7月)実施 受講者51人、一次試験合格者17人 ・教員採用試験二次試験対策講座(令和元年8月～9月)実施 (受講者16人、最終合格者14人) ・教員採用試験対策講座(令和元年11月～2020年3月)実施 	令和3年度目標	予算額		
					2,177 千円
					<ul style="list-style-type: none"> ・小学校での教員採用試験合格者数15人以上 ・講座満足度80%以上
【点検評価】					
区分	評価の説明		評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 市内で対策講座を実施することで、石垣市で仕事をしながら通年で対策でき、沖縄本島に出向くなどの経済的負担を軽減できた。また、受講者が互いに切磋琢磨する環境により、安定的に合格者を輩出することにつながっている。業務を専門業者に委託していることで、専門的な情報が得られているが、各校種・専門教科に対応した講師の確保が難しく、受講生の要望に合わせた講座の設置が困難である。またコロナ禍において会場確保も難しく、講師の渡航も難しい状況が続いている。		S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70～100%) B:ある程度 計画通り (50～69%) C:あまりうまく いっていない (30～49%) D:うまくいって いない (29%以下)		
	S				
外部評価	ニーズの大きかった教員採用試験対策に取り組んできたこと、さらに大きな成果が得られていることを高く評価したい。素晴らしい実績であり誇りに思う。予算等の関係により今年度で終了という事だが、市長、議員にも強く訴え本市の将来のためにも継続の方策を模索していただきたい。併せて、八重山教育事務所と連携し、退職教員の活用を図ってほしい。				
	S				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	学力向上対策費				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(2)確かな学力の向上			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校				
(2)目的	本市の幼児児童生徒に基礎的・基本的な学力を身に付けさせ、自ら学び、考え、行動する「生きる力」を育むため、特色ある教育課程を編成するとともに、教職員の協働体制の確立、校内研修の活性化等を推進し「学ぶ意義」や「学ぶ意欲」の向上を図るキャリア教育の視点を含めた取り組みにより「学び」を楽しみ、高める「わかる授業」を実践する。 また、「学習を支える力」の育成を図るため、「基本的な生活習慣」の確立を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	本市の教育目標及び主要施策に基づき、児童生徒の全面発達を支援し、基礎学力の向上・定着、望ましい生活習慣の育成・助成を期するための諸活動、取組の実践・展開にあたる。				
(4)成果目標	各種調査の実施(全国学力・学習状況調査、沖縄県児童生徒質問紙調査等)や研修会(2回)、生徒フォーラム、算数・数学フェスティバル等の実施を通して、児童生徒の学ぶ意欲を育て、学力向上を推進する。				
(5)根拠法令等					
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	6,061 千円	令和元年度実績	決算額	6,070 千円
<ul style="list-style-type: none"> 標準学力調査、生活実態調査:小2～中2 中3学力調査及び分析説明会の実施 信泉プロジェクト「勇気づけの教育」の推進リーフレットの作成、校内研講話、新聞投稿 信泉プロジェクト「学びに向かう学校づくり生徒フォーラム」:中9校27名参加 信泉プロジェクト「石垣市算数・数学フェスティバル」小33名、中24名(感染予防対策のため規模を縮小し開催) 検定受験料補助(中3):220名 石垣市立小中教職員研修会(中止) いしがき教育の日並びに教育講演会(中止) 	全国学力・学習状況調査において、小6の国語・算数の正答率で全国平均を上回り、全国水準となっている。 中学校国語は、県平均に達し概ね全国水準に達したと捉えることができる。 中学校数学も改善傾向にあるが、英語は全国・県平均正答率との差が大きくあり、それぞれ課題が残る。		令和3年度目標	予算額	2,880 千円
	本市児童生徒の主体的に学ぶ力と社会性を育むために、信泉プロジェクト「勇気づけの教育」を推進する。 そのために、各研修や学校訪問を通して周知するとともに、検定受験料補助や生徒フォーラムを実施し、児童生徒の学びをサポートする事業を展開する。				
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 各種調査(全国学力・学習状況調査、沖縄県児童生徒質問紙調査、中3学力調査)を通して、児童生徒の課題の把握や、授業改善・学校改善につながる周知ができた。「勇気づけの教育」の推進により、教職員の児童生徒へ「受容・共感・励まし等」を伝える声掛けや対応が増えてきている。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	各学校がそれぞれに取り組んできた学力向上対策を、市のプロジェクトとして一体化し効果をあげており評価したい。学校現場への積極的な働きかけや新聞投稿等により保護者や一般市民に対し「勇気づけの教育」の浸透が図られており、投稿についてポイントを押しえ冊子化することで継続的な取り組みに繋げてほしい。また、教育指導主事の増員による効果を可視化できるようにしてほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	学校教育課	
事務事業名	へき地教育対策費				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実			
	施策項目	(1)豊かな心の育成 (2)確かな学力の向上 (3)健やかな体の育成			
【事業概要】					
(1)対象	小中学校西部地区(富野小中、崎枝小中、川平小中、吉原小) 小学校北部地区(伊野田小、明石小、平久保小、野底小)				
(2)目的	へき地学校においては、へき地の特性である「へき地性」「小規模性」「複式形態」を生かし、地域に根差した創意ある教育課程を編成・実施し、主体的で創造性豊かな児童生徒の育成に取り組み、その特性を生かした、合同・集合・交流学习を推進する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	本市北部・西部の小学校及び中学校の児童生徒が集合し、スポーツ(体育)や合唱、合奏(音楽)などの活動を行う。				
(4)成果目標	年2回集合学習の実施				
(5)根拠法令等	へき地教育振興法、第4次石垣市総合計画後期基本計画第3章はぐくむ未来の担い手を育てる				
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	175 千円	令和元年度実績	決算額	379 千円
<ul style="list-style-type: none"> 西部地区においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により令和2年度は集合学習を中止。 北部地区においては1回の集合学習で幼稚園は運動会、小学校低学年及び中学年は体育、高学年は英語の学習を実施(参加者総数76名(幼稚園児14名、低学年14名、中学年22名、高学年26名)) 			<ul style="list-style-type: none"> 北部地区小学校(低学年・中学年は体育、高学年は外国語)を年2回実施(参加者総数:各84名 稚園14名、低学年22名、中学年23名、高学年25名) 西部地区小学校は体育を2回実施。(参加者総数:各82名 低学年22名、中学年33名、高学年27名) 		
			令和3年度目標	予算額	345 千円
			<ul style="list-style-type: none"> 北部地区においては2回、西部地区においては中学校各2回の集合学習を実施する。 		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 集団の中で学習する喜びや楽しさを味わえることや友と課題を解決する経験をすることで社会性や協調性を培うことができ、非常に意義深い学習機会となっている。 新型コロナウイルス感染症拡大により令和2年度は計画とおりの実施ができなかったため、今後の集合学習のあり方を検討する必要がある。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	外部評価	へき地教育の課題である「集団での学び」の機会が推進され、園児・児童が、体育や音楽の授業をとおして大人数で学ぶ楽しさを味わい、社会性や協調性を培う貴重な機会となっており大いに評価できる。今後は、少人数学級の課題である国語や算数等における「練りあい・学び合い・高めあう場」の設定にも挑戦してほしい。また、オンライン教育の充実や集団学習のメリットを地域コミュニティに広めてほしい。			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	学校教育課
事務事業名	気になる子のすこやかな学び支援事業(沖振交事業)		
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実	
	施策項目	(5)特別支援教育の充実	
【事業概要】			
(1)対象	市立小中学校に在籍する児童生徒・保護者・教諭		
(2)目的	特別な支援を必要とする児童生徒に個別に対し、専門的立場から支援するために臨床心理士を雇用し、必要に応じて各学校に派遣し教育相談を行う。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	障がいのある児童生徒の早期支援に当たるため、臨床心理士による教育相談、心理検査等の計画的実施や相談者・教諭への継続的な支援を実施する。また、事後アンケートから相談に対する感想や満足度に対する評価・対応、関係機関と連携した取組を強化する。		
(4)成果目標	教育相談・心理検査等100件 相談に対する手立てや不安解消軽減等について事後アンケートにて評価を行う。		
(5)根拠法令等	臨床心理士等設置要項		
【事業実績・目標】			
令和2年度実績	決算額	5,080 千円	令和元年度実績
			決算額
			6,520 千円
<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士(2名) 教育相談の実施(巡回相談 57件)(心理検査 19件) 各研修会や各学校における校内研修での講話 事後アンケートによる満足度評価 アンケート結果では「相談により不安が解消・軽減されましたか」という設問に対し、回答者の100%の肯定的な回答を得た。 		<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士(2名) 教育相談の実施(巡回相談 87件・心理検査 35件) 事後アンケートによる満足度評価 アンケート結果では「相談により不安が解消・軽減されましたか」という設問に対し、回答者の98%から肯定的な回答を得た。 	
		令和3年度目標	予算額
			4,307 千円
		<ul style="list-style-type: none"> 臨床心理士を確保する。 教育相談・検査件数 60件 臨床心理士による教育相談並びに心理検査の実施 事後アンケートによる満足度評価 アンケート結果では「相談により不安が解消・軽減されましたか」という設問に対し、回答者の98%の肯定的な回答が目標。 	
【点検評価】			
区分	評価の説明		評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 巡回相談・心理検査の件数自体は、昨年度よりも減少したが、事後アンケートによる満足度評価では100パーセントの満足度を示すなど、専門的立場から説明や助言を行うことができています。また、児童生徒、保護者、学校の抱える不安の解消につながっていることが伺える。また、教育支援申請の児童生徒を予め把握することができ、次年度へのスムーズな支援体制を構築することに繋がっている。しかし、臨床心理士の安定的任用に課題があり、沖振交事業のため、R4年度以降の事業実施の見通しが立てられない状況にある。		S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
A			
外部評価	専門的な立場からの説明や助言の場が確保され、事後のアンケートによる満足度も100パーセントという結果が出ていること、次年度の支援体制構築にもスムーズに繋がれたことは評価できる。臨床心理士は現代の学校教育において必要不可欠な存在となっており、今後も臨床心理士の安定的任用が図られるように努力してほしい。市長に強く訴えて確保すべし。		
A			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	学校教育課		
事務事業名	「学ぶ意欲・わかる授業」を支援する事業(沖振交事業)				
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実[学校教育の充実]			
	施策項目	(2) 確かな学力の向上			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小中学校				
(2)目的	学校教育支援員の配置、外国語学習支援員の派遣、また小中学校教諭を対象とした研修会等をとおして、本市児童生徒の学力向上を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育支援員(授業時ならびに放課後学習支援)の配置 ・外国語学習支援員(英語指導支援)の派遣 ・学力先進地域から講師を招聘した授業改善研修会(小学校)の実施 				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県学力到達度調査全体平均正答率:小学校60%以上、中学校50%以上 ・英語に興味・関心を持ったと回答した児童生徒の割合:80%以上 				
(5)根拠法令等	石垣市学校教育支援員設置要項 石垣市立小中学校外国語学習支援員設置要項				
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	105,591 千円	令和元年度実績	決算額	82,744 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員32名配置 ・市立小中学校へ外国語学習支援員6名を派遣 ・学校教育支援員オリエンテーションを実施 ・小中外国語担当者研修会(緊急事態宣言中につき中止) ・学校教育支援員研修会を実施 ・英語指導力向上研修会を実施 ・学力向上推進地域より講師を招聘しての研修会(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員26名配置 ・市立小中学校へ外国語学習支援員6名を派遣 ・学校教育支援員オリエンテーション ・学校教育支援員研修会 ・小中外国語担当者研修会 ・英語指導力向上研修会 		令和3年度目標	予算額	105,591 千円
	<ul style="list-style-type: none"> ・市立小学校9校・中学校3校へ学校教育支援員32名配置 ・市立小中学校へ外国語学習支援員6名を派遣 ・学校教育支援員オリエンテーションの実施 ・学校教育支援員研修会の実施 ・英語指導力向上研修会の実施 ・学力向上推進地域より講師を招聘しての研修会の実施 				
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善等】				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A	・県到達度調査は、小学校5年・6年の平均正答率は56.2%、中学校1年・2年の正答率は46.1%と目標数値に達しなかった。新型コロナウイルス感染予防対策で十分な補習等ができなかったことも原因の一つと考えられる。今後も学級担任や教科担任等と連携した個別支援の更なる強化が必要である。児童生徒の英語への興味・関心については、児童生徒の外国語に対する学習意欲の向上を4段階(A,B,C,D)で評価した。A評価は72%とB評価が28%と全体として肯定的な評価であった。今後学級担任や教科担任等との効果的なチームティーチングの在り方についての検討をさらに重ねていきたい。			
外部評価	学校現場へ多くの学校教育支援員が配置され、児童生徒への個別支援体制が整えられたことで学習意欲の向上へと繋がっており評価したい。さらに、授業改善の工夫がなされ、支援員のより効率的な活動が図られることを期待したい。学校教育支援員や外国語学習支援員の派遣は、子ども達の学力向上に多大な好影響を与えることから、沖振交予算の確保に向け市議・市長を先頭に要請してほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	公民館管理費				
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実〔社会教育の充実〕			
	施策項目	(2) 社会教育施設におけるサークル活動の活性化			
【事業概要】					
(1)対象	市民				
(2)目的	各種の講座や諸学級の開設、サークル活動の拠点として「誰でも・いつでも・学べる」ことができる社会教育施設の充実を図る。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	令和2年度策定の「石垣市平得公民館施設長寿命化計画」に基づき10年修繕計画を実施することにより社会教育施設の利便性向上と課自主事業等の展開により施設の活用を図る。				
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・「石垣市平得公民館施設長寿命化計画」に基づく年次計画的な施設の修繕 ・利用回数、(施設使用料) 過去5年間の「平均値」 				
(5)根拠法令等	石垣市公民館設置条例 石垣市公民館設置条例施行規則				
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	1,278 千円	令和元年度実績	決算額	2,741 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・1階トイレドア修繕、1階窓修繕、水道水漏れ修繕 ・利用回数:323回 (施設使用料:95,000円) 		<ul style="list-style-type: none"> ・2階ホールエアコン取替え工事 ・利用回数:342回 (施設使用料:190,000円) 			
		令和3年度目標	予算額	3,165 千円	
		<ul style="list-style-type: none"> ・1階底コンクリート剥離修繕、2階ホールテーブル・椅子取替え ・利用回数:232回 (施設使用料:224,000円) ※ 過去5年間の平均値より目標設定 			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 令和2年度に「石垣市平得公民館施設長寿命化計画」を策定し、今後は施設の利便性向上を図るため年次計画的な修繕に努めていくものの、これまでは施設や備品の老朽化もあり、十分な施設の活用が図れなかった。今後は、課自主事業による積極的な施設の活用や各社会教育団体の施設利用を促し、利用回数等の向上を図る。				S:計画以上 (101%以上) A:計画通り (70~100%) B:ある程度 計画通り (50~69%) C:あまりうまく いない (30~49%) D:うまくいって いない (29%以下)
	B				
外部評価	中央公民館制度と地域公民館のコミュニティ形成との狭間で苦しい管理運営となっており、老朽化した施設や備品の活用に難渋していることがうかがい知れる。策定された「石垣市平得公民館長寿命化計画」が円滑に推進されることを期待しているが、施設の長寿命化に向けた財源確保のため、部分的でもネーミングライツ等に挑戦してみてもどうか。				
	B				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	いきいき学び課	
事務事業名	文化会館管理費				
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実〔社会教育の充実〕			
	施策項目	(2) 社会教育施設におけるサークル活動の活性化			
【事業概要】					
(1)対象	社会教育団体(4サークル)				
(2)目的	社会教育施設におけるサークル活動の活性化				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	施設の老朽化が著しく、1階青少年センター業務外の時間帯で従来4サークルのみの活用に留めているため、文化会館における新たなサークル活動の活性化は極めて困難である。				
(4)成果目標	施設の老朽化が著しく、1階青少年センター業務外の時間帯で従来4サークルのみの活用に留めているため、文化会館における新たなサークル活動の活性化は極めて困難である。				
(5)根拠法令等	石垣市文化会館設置条例 石垣市文化会館設置条例施行規則				
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	3,535 千円	令和元年度実績	決算額	1,955 千円
<ul style="list-style-type: none"> ・会議室エアコン取替え工事、トイレ配水管取替え工事 ・利用回数:97回 施設使用料:75,300円 			<ul style="list-style-type: none"> ・利用回数:238回 施設使用料:109,600円 		
			令和3年度目標	予算額	2,543 千円
			施設の老朽化が著しく、1階青少年センター業務外の時間帯で従来4サークルのみの活用に留めているため、文化会館における新たなサークル活動の活性化は極めて困難である。		
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 文化会館は建築から60年余が経過し、コンクリート剥離や雨漏れ等施設の老朽化が著しく、2階部分は昨年7月から使用中止としている。やむなく1階青少年センター業務外に、従来4団体のみの利用に留めている。また、令和元年度に青少年センター設置検討委員会において、施設の修繕・建替えについて財政的に厳しいことから、現在入居している「青少年センター」機能のみを移転させ、移転後は文化会館を取り壊す計画である。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)
	A				
外部評価	施設の老朽化が著しく、危険家屋と見なされてもおかしくない状況の中、活用努力が図られている。新たに大きな財源を投入できないとは思いますが、子ども達が利用している実態があるので、少ない予算の中においても、最大限設備の修繕に努力して欲しい。また、施設利用者のため、エアコンのクリーニングなど可能な範囲での施設管理を図ってほしい。				
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】					
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	いきいき学び課		
事務事業名	不登校対策等支援員配置モデル事業(沖振興事業)				
施策体系	主要施策	4 地域を誇りにし、大切に思う健全な青少年の育成〔青少年の健全育成〕			
	施策項目	(6) 不登校対策支援の推進			
【事業概要】					
(1)対象	石垣市立小学校並びに中学校から選定された2校				
(2)目的	不登校の未然防止や早期発見・早期対応を図るため、スクールライフサポーターを学校に配置する。また、あわせて教室に入ることの出来ない児童生徒に対して、学校内で孤立することがないように、居場所づくり等、学校と協力し必要な支援を実施する。				
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童生徒等の登校支援や家庭訪問 ・不登校児童生徒等の学校内における学習支援及び教育相談 ・不登校児童生徒及び保護者や教職員等に対する相談、支援、情報の提供 ・進級、進学等に伴う家庭、小学校、中学校との連携支援 ・不登校児童生徒等の屋外体験活動や職場体験活動の支援 ・ケース会議や生徒指導部会、教育相談部会等への参加や関係機関及び団体等とのネットワークの構築、連携等 				
(4)成果目標	不登校児童生徒の学校復帰。				
(5)根拠法令等	石垣市不登校対策等支援員配置モデル事業実施要綱・要項				
【事業実績・目標】					
令和2年度実績	決算額	6,331 千円	令和元年度実績	決算額	5,502 千円
小学校 延べ支援児童数183名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援34名、家庭訪問21名、学習支援22名、体験学習8名、その他98名)・主な支援内容:登校支援、家庭訪問、学習支援等 延べ支援回数835回(登校支援298回、家庭訪問38回、学習支援239回、体験活動7回、その他253回) 不登校率0.56%【不登校者数(2)÷全校児童数(360)】 朝の家庭訪問・登校支援を継続し、別室での居場所づくり、保護者担任、スクールカウンセラーとの連絡を密に行った結果、不登校率の減少に繋がった。連絡に応答がない保護者や支援に拒否感のある保護者等、保護者対応の課題、また、入学時から一日も登校しない児童の所在確認を学校職員が1度も行えないケースがあり、市や県等の関係機関を含めた全体での取り組みが必要である。		小学校 延べ支援児童数122名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援30名、家庭訪問13名、教育相談9名、学習支援14名、体験学習7名、その他49名)・主な支援内容:登校支援、家庭訪問、学習支援等 延べ支援回数1,201回(登校支援504回、家庭訪問65回、教育相談13回、学習支援165回、体験活動14回、その他440回) 不登校率1.69%【不登校者数(6)÷全校児童数(353)】			
中学校 延べ支援生徒数13名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援4名、家庭訪問2名、学習支援7名)・主な支援内容:登校支援、家庭訪問、学習支援等 延べ支援回数836回(登校支援41回、家庭訪問119回、学習支援616回、体験活動0回、その他60回) 不登校率4.28%【不登校者数(23)÷全校生徒数(537)】 登校支援を継続し、別室での居場所作りや、作業学習での居場所作りを行った結果不登校率の減少に繋がった。担任・学年と保護者の連携を深められないと支援が困難となるため、連携の強化が必要である。		中学校 延べ支援生徒数14名(欠席30日未満の登校しぶり児童含む。登校支援4名、家庭訪問6名、学習支援4名)・主な支援内容:登校支援、家庭訪問、学習支援等 延べ支援回数478回(登校支援154回、家庭訪問248回、学習支援70回、体験活動0回、その他6回) 不登校率4.34%【不登校者数(24)÷全校生徒数(552)】			
		令和3年度目標	予算額	6,669 千円	
		スクールライフサポーターを配置したモデル校の不登校率: 小学校0.56%以下 中学校4.28%以下 ※ これまでの最低値			
【点検評価】					
区分	評価の説明				評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善方法】 登校支援や学校での居場所作りの他、保護者、学校職員との細やかな連携により、対前年度比の不登校率が小学校(△1.13%)・中学校(△0.06%)と共に減少となった。しかし、中学校にあっては、微減となり減少傾向が横ばいとなっている。中学校は小学校の複合となっているため、中学校就業前の対策が必要と考えられる。今後、不登校者数を減少させるには、複数の小学校にスクールライフサポーターを配置し、中学校就業前の校区全体での取り組みが必要である。				S:計画以上(101%以上)
	A				
外部評価	スクールライフサポーターの配置や居場所作り等々、本人や保護者、学級担任との信頼関係を深めた取り組みにより不登校率の減少が図られており評価したい。今後も不登校児救済のため本事業が継続されるよう取り組んでもらいたい。また、生涯学習という広い分野を担当しながら、義務教育における不登校児童の対応まで担っている担当部署の負担は大きいと思うので行革の中でしっかり検討してほしい。				B:ある程度計画通り(50~69%)
	A				

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	文化財課			
事務事業名	旧宮良殿内保存修理事業(令和2年度実施計画掲載事業:令和5年度～8年度実施予定)						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)					
	施策項目	(1) 文化財の保護と活用					
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)							
(1)対象	重要文化財 旧宮良殿内						
(2)目的	重要文化財の適切な維持管理と安全な公開活用						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	文化庁の補助金を活用し、半解体修理を行う。設計監理を公益財団法人文化財建造物保存技術協会(文建協)に委託し、施工は工事請負とする。 文建協の積算による事業計画では、事業期間4ヵ年、総事業費294,600千円(工事請負費・設計監理費:H28概算・消費税10%換算)。令和5年度中の事業着手に向けて、取り組みを進めている。						
(4)成果目標	着手から4年間の事業期間内で、重要文化財建造物として適切な保存修理を完了する。						
(5)根拠法令等	文化財保護法						
【事業実績・目標】							
令和2年度実績	決算額	0 千円		令和元年度実績	決算額	0 千円	
<ul style="list-style-type: none"> ・4月 文化庁調査官が来島時に現地視察 ・9月 第2回政策会議において、市長部局に事業説明 ・11月 専門家による板戸絵の調査実施 ・12月 文化庁に、R5～8を実施予定年度とした事業要望資料(10ヵ年計画表)を提出 ・3月 県教育庁文化財課担当者と事務調整 				<ul style="list-style-type: none"> ・8月 専門家による板戸絵の調査実施 ・9月 第2回政策会議において市長部局に説明(H27より毎年) 			
<ul style="list-style-type: none"> ※ 政策会議のほか、財政課ヒアリングや定員管理調査等の機会に、市長部局(財政課・企画政策課等)と事務調整している(H27より適宜)。 ※ 宮良殿内家関係者に、同家に伝わる家屋にまつわる伝承や、過去の修繕の経緯等について聞き取りを継続し、調査記録を作成している(H27より適宜)。 				令和3年度目標	予算額	0 千円	
				<ul style="list-style-type: none"> ・R4からの新たな辺地総合計画に事業掲載を要望(R3.6) ・R4年6月に、R5補助事業に係る事業計画を提出することを目指して、積算の見直しを進める。 ・H30以降、建築装飾として板戸に描かれた絵の持つ美術史的な価値について調査研究が進められているが、板戸絵の保存修理を建造物保存修理事業の一環として行うことができるか、調査検討を進める。 			
区分	評価の説明					評価凡例	
内部評価	【成果・課題・改善方法】 概算事業費を把握後のH28年6月、企画政策課や財政課と着手時期について協議したところ、市役所新庁舎建設工事を控えた財政状況から、新庁舎竣工後の着手が望ましいとの意向が示された経緯がある。H30以降、板戸絵の美術史的な価値について調査研究が進んだことにより、専門的な知見を得て修理計画を再検討する必要がある。今後、R5年度内の着手に向け、事業計画及び事業費の見直しを進めていく。					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	B						
外部評価	歴史的に重要な文化財なら、それに見合う維持管理が求められる。文化庁とも協議の上、しっかりと財源確保を行い修理保存も取り組んでほしい。						
	B						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	文化財課			
事務事業名	宮良殿内庭園保存修理事業(令和2年度実施計画登載事業:令和9年度～11年度実施予定)						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)					
	施策項目	(1) 文化財の保護と活用					
【事業実績・目標】 ※可能な限り、指標の数値化に努めてください。(回、人、件、%など)							
(1)対象	国指定名勝 宮良殿内庭園						
(2)目的	国指定名勝の適切な維持管理と安全な公開活用						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	旧宮良殿内保存修理事業(R5～8年度予定)の終了後、文化庁の補助金を活用し、庭園の保存修理及び保存活用計画策定(3ヵ年)を予定している。H28に得た概算資料等では、事業費は36,665千円を見込んでいるが、補助事業の計画作成が近づいた段階で、あらためて積算を行う必要がある。						
(4)成果目標	3年間の事業期間の内、着手から2年間で国指定名勝庭園として適切な保存修理を完了する。また、重要文化財(建造物)と名勝庭園の、ふたつの種別の文化財を併せた保存活用計画を、事業期間の後半で策定する。						
(5)根拠法令等	文化財保護法						
【事業実績・目標】							
令和2年度実績	決算額	0 千円		令和元年度実績	決算額	0 千円	
・9月 第2回政策会議において、市長部局に事業説明 ※ 政策会議のほか、財政課ヒアリングや定員管理調査等の機会に、市長部局(財政課・企画政策課等)と事務調整している(H27より適宜)。 ※ 宮良殿内家関係者に、同家に伝わる庭園にまつわる伝承や、敷地内の様々な事柄について聞き取りを継続し、調査記録を作成している(H27より適宜)。				・9月 第2回政策会議において市長部局に説明(H27より毎年) 令和3年度目標 予算額 0 千円 関係者からの聞き取りや古写真等の資料収集を進める。また、庭園の保存修理や保存活用計画作成に関する最新の情報収集に努める。			
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	A	【成果・課題・改善方法】 本庭園は、19世紀初頭の作庭以来、本格的な修理が行なわれたことがなく、庭石の傾斜や土壌の流出、植栽の管理等が課題となっている。本事業は、建造物修理(4ヵ年間)の終了後に予定しているが、将来の修理に向け、H29にはレーザー測量を実施して立体的な図化のためのデータを得た。今後は、庭園の経年による変化に留意しながら、関係者からの聞き取りや古写真の収集等の調査を継続し、保存修理に向けた情報収集を進めたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
		外部評価 B 予算が無い中、保存に向けた取り組みはみられるものの、庭園は宮良殿内同様重要な有形財産であり、早急な修繕保全に努めてほしい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	市史編集課			
事務事業名	市史編集事業						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕					
	施策項目	(6)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	石垣市史および関連図書の刊行を通して、石垣市の歴史や文化の継承と発展に寄与する						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市史編集委員会及び各小委員会の開催 ・石垣市史および関連図書の発刊に向けた編集作業 						
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市史編集委員会及び民話、古文書小委員会の開催 ・『石垣市史叢書25 参遣状(喜舎場永珣旧蔵史料)5』の刊行 						
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則						
【事業実績・目標】							
令和2年度実績	決算額	3,288 千円		令和元年度実績	決算額	4,300 千円	
<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市史編集委員会の開催(目標:2回、実績:2回) ・古文書小委員会の開催(目標:2回、実績:8回) ・民話小委員会の開催(目標:2回、実績2回) ・『石垣市史叢書25 参遣状(喜舎場永珣旧蔵史料)5』発刊(250部) 			<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市史編集委員会の開催(2回) ・考古小委員会の開催(2回) ・『考古ビジュアル版8 八重山における発掘調査』発刊(300部) ・『石垣市史研究資料7 白保の民話』増刷(150部) 				
			令和3年度目標	予算額	3,020 千円		
			<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市史編集委員会の開催(2回) ・民話小委員会の開催(3~4回) ・『石垣市史研究資料10 平得の民話』(仮称)の発刊 ・民話関連資料の収集及び聞き取り調査の実施 ・有識者へ原稿執筆依頼 				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】					S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)	
	A	<p>(成果) 市史編集委員会、民話小委員会は、目標の各2回開催した。古文書小委員会は、2回の開催予定に対して8回の開催となり、目標としていた『石垣市史叢書25』(250部)を発刊、市内各小中高校をはじめ関係機関に送付して活用を図った。</p> <p>(課題) 『石垣市史』及び関連図書の発刊後、いかに活用の機会をひろげていくか創意工夫が必要である。</p> <p>(改善方法) 石垣市史報告会として、シンポジウム、講演会、見学会等、発刊される『石垣市史』及び関連図書の分野に合った内容で企画し、活用の機会を広げていく。</p>					
外部評価	事業が計画的に推進され『石垣市史叢書25』の発刊がなされたことは評価したい。発刊後の活用状況を把握し、有効活用の工夫がなされることを期待する。また、真栄里公民館での報告会は素晴らしかった所以他地域でも実施してもらいたい。						
	A	地道な作業が求められると思うが、本市の歴史や文化の継承や発展のためにも大変重要な事業であり、市史編集委員や専門員の手当てや報酬についても増額するなど更なる充実を図ってほしい。					

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	市史編集課			
事務事業名	戦後開拓移民 編集・発刊事業						
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展〔文化の継承・発展〕					
	施策項目	(6)市史等の編集発行及び関係資料の収集と情報提供					
【事業概要】							
(1)対象	市民						
(2)目的	『石垣市史』の「戦後開拓移民編」。戦後、石垣島の北西部を中心に開拓を目的とした計画移民の記録を後世に残す。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・石垣市史戦後開拓移民小委員会の開催 ・石垣市及び沖縄県(琉球政府)行政記録の調査 ・関係市町村・関係機関への資料収集と調査 ・関係者への聞き取り調査 						
(4)成果目標	戦後の石垣島開拓移民に関する記録を後世に残すため、『石垣市史 戦後開拓移民編』として出版し、市民の活用に供する。						
(5)根拠法令等	石垣市附属機関設置条例 石垣市史編集委員会規則						
【事業実績・目標】							
令和2年度実績	決算額	173 千円		令和元年度実績	決算額	170 千円	
<ul style="list-style-type: none"> ・開拓移民編小委員会の開催(目標:2回、実績:2回) ・関係市町村への資料収集、調査の実施(名護市、金武町、北中城村、宜野湾市、南城市、八重瀬町) 			<ul style="list-style-type: none"> ・開拓移民編小委員会の開催(1回) ・関係市町村への資料収集の実施(読谷村、豊見城市、沖縄市、大宜味村、うるま市、県立図書館、県公文書館) 				
						令和3年度目標	予算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・開拓移民編小委員会の開催(2回) ・関係市町村への資料収集の実施 ・開拓移民関係者からの聞き取り調査の実施 ・有識者へ原稿執筆依頼 				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題・改善方法】 (成果) 戦後開拓移民小委員会を2回開催し、「戦後開拓移民編」の全体構成を見直した。また、県内関係市町村へ資料収集と調査を行なった。 (課題) 石垣島に開拓移民として移住された方々は、高齢となり、聞き取り調査が難しい状況にある。時間的制約が伴うことから、早急な対応が必要である。 (改善方法) 市史編集委員や専門員の委嘱等により調査体制を整え、聞き取り調査を精力的に行なっていきたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	B						
外部評価	コロナ禍もあり関係者への聞き取りは困難な状況にあると思うが、開拓移民一世は高齢化が進み、存命者が本当に少なくなっているため、調査方法を工夫しながら早急に聞き取り調査を実施してもらいたい。各移民集落の記念誌を活用し石垣市全体を関連づけて取りまとめてほしい。						
	B						

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	博物館				
事務事業名	八重山博物館所蔵資料修復及び整理・活用事業(沖振交)							
施策体系	主要施策	6 豊かな感性を育む文化の継承と発展(文化の継承・発展)						
	施策項目	(7)博物館事業の充実、(8)博物館所蔵資料保存・管理の推進						
【事業概要】								
(1)対象	八重山博物館所蔵資料、石垣市民、観光客							
(2)目的	博物館資料の内、虫食いやヤケ等により劣化が進んだ歴史・絵画資料や古文書類を修復・デジタル化し、資料の長期保存と利活用推進を図る。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化が進んだ歴史・絵画資料等の紙資料の修復(新聞資料6点、画稿11点の合計17点)。 ・県内で同様の事業実績がある業者から決定する。 ・修復後、中性紙ボードを使用した保管箱に適切な保管を図る(新聞資料6点、画稿11点の合計17点)。 ・修復後の資料を展示し活用を検討する。 							
(4)成果目標	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館資料(新聞資料6点、画稿11点の合計17点)を良好な状態で、長期保存することを目指す。 ・博物館内での展示、一般市民、専門家への資料レファレンス等に活用を検討する。 							
(5)根拠法令等	博物館法 石垣市立八重山博物館条例							
【事業実績・目標】								
令和2年度実績	決算額	10,286 千円		令和元年度実績	決算額	6,006 千円		
<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵資料の修復(新聞資料6点、画稿11点の合計17点) ・デジタル化(新聞資料6点、画稿11点の合計17点) ・保管(新聞資料6点、画稿11点の合計17点) ・修復の終わった資料を企画展の一部で展示公開(誘客数87名) 			<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵資料の修復(新聞資料2点、画稿10点の合計12点) ・デジタル化(新聞資料2点、画稿10点の合計12点) ・保管(新聞資料2点、画稿12点の合計12点) 					
			令和3年度目標	予算額	3,151 千円			
			<ul style="list-style-type: none"> ・所蔵資料の修復(新聞資料2点) ・デジタル化(新聞資料2点) ・保管(新聞資料2点) ・修復の終わった資料の展示公開(誘客数100名以上を目標) 					
【点検評価】								
区分	評価の説明				評価凡例			
内部評価	【成果・課題・改善方法】 所蔵資料の中から紙資料(新聞資料・画稿)を選択し、合計17点を修復・デジタル化、その後、適切な保管が図られた。また、企画展の中で資料が展示・公開され、事業は計画通りに進められた。 将来的には、デジタル資料を活用し、デジタル博物館(WEB)の開設につなげ、資料の公開・活用に取り組みたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)			
	A							
外部評価	選択された所蔵資料の修復・デジタル化、さらに適切な保管が図られ、企画展において展示・公開されるなど事業が計画通りに進められており評価したい。箱物などのハード面での整備はもちろん、所蔵資料などのソフト面の充実を図ることも大切であり画竜点睛とならないよう、日頃から調査、研究・保存に頑張ってほしい。財政面の課題もあるが、所蔵資料の修復等がさらに進められることを期待したい。							
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】			
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)	主管課	学校給食センター
事務事業名	調理業務等民間委託業務		
施策体系	主要施策	2 自ら学ぶ意欲を育む学校教育の充実【学校教育の充実】	
	施策項目	(4) 食育の推進	
【事業概要】			
(1)対象	給食センターにおける調理業務等の作業部門		
(2)目的	給食センター調理業務等を民間委託し、民間の技術と専門性を活用して安心、安全な給食の提供と給食センターの運営の安定化を図る。		
(3)目的達成のための手段(事業内容)	民間委託契約に係る業務である委託業者の公募及び委託業者選定委員会を開催し、選定結果の公表と委託契約内容等の協議と契約を行う。業務委託により、学校給食業務の円滑な運営の維持及び向上を図る。		
(4)成果目標	平成29年(2017年)8月よりスタートした調理業務等委託契約期間終了の年度により、契約にかかる業務を計画的に行ない、安心安全な給食の提供と給食業務の安定化を図る。		
(5)根拠法令等	「学校給食の運営の合理化について」(昭和60年文部省通達)等、「第6次石垣市行政改革大綱」(平成22年6月策定)、「第4次石垣市定員適正化計画」(平成23年制定)等		
【事業実績・目標】			
令和2年度実績	決算額	124,923 千円	令和元年度実績
	決算額		決算額
			123,334 千円
・令和2年4月～令和3年3月 給食調理日数：199日 給食提供食数：1,031,817食	・平成31年4月～令和2年3月 給食調理日数：196日 給食提供食数：984,062食		
4月～7月：3年間長期継続契約 8月～3月：5年間長期継続契約	10月～ 次年度からの契約にかかる業務計画、予算にかかる見積依頼業者の選定及び積算業務 1月～ 調理業務等委託検証委員会の開催(2回開催) 調理業務等委託検証のため児童生徒・教職員・保護者等へアンケート実施後評価、検証し報告書を作成公表した。		
5月～ 調理業務等委託業者選定委員会の開催 委託業者の公募による委託業者選定業務 選定内容及び公募結果の公表	令和3年度目標		
6月～ 委託業者と委託契約内容及び覚書の協議と締結	予算額	125,124 千円	
8月～ 調理業務等民間委託開始(委託期間：5年間)	令和3年4月～令和4年3月(5年間長期継続契約) 給食調理予定日数：200日 給食提供予定食数：1,069,200食 ・安心安全な給食の提供と給食業務の安定化を図るため随時業務会議等開催し、衛生、業務管理等運営状況を確認する。		
【点検評価】			
区分	評価の説明		評価凡例
内部評価	【成果・課題・改善等】		S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70～100%) B:ある程度計画通り(50～69%) C:あまりうまくいっていない(30～49%) D:うまくいっていない(29%以下)
A	調理業務等委託契約に係る業務の一部にコロナ禍による影響があったものの計画どおりにすすめることができた。また、安心安全な給食の提供と安定したセンター運営を図ることができた。		
外部評価	安心安全面、コスト面からも効果が得られ、給食に関するアンケート調査でも子ども達や保護者から高い評価を得ており、調理業務の民間委託については評価したい。引き続き機器の管理や衛生管理の徹底を図るとともに、インシデント対策について迅速に行ってもらいたい。また、パン配給の課題について早期解決が図られるよう努力してほしい。		
A			

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】								
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	図書館				
事務事業名	移動図書館							
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]						
	施策項目	(8) 図書館活動の充実						
【事業概要】								
(1)対象	北西部地区にお住まいの市民							
(2)目的	市立図書館遠隔地に在住する市民の、生涯学習の充実と向上のため、利便性が高くより親しみやすい図書館サービスを行う。							
(3)目的達成のための手段(事業内容)	軽ワゴン車に約500冊の図書を搭載し、毎月2回、明石公民館と川平公民館を巡回して、図書館サービスを行う							
(4)成果目標	居住する場所に関わらず、生涯学習の場として、乳児から大人まで幅広い多くの市民に図書館サービスを利用していただく。							
(5)根拠法令等	図書館法 第三条五項、子供の読書活動の推進に関する法律							
【事業実績・目標】								
令和2年度実績	決算額	333 千円		令和元年度実績	決算額	341 千円		
毎月第2・4日曜日 明石公民館、川平公民館 それぞれ午前と午後巡回し、公民館の協力を得て移動図書館を開催。 ・巡回日数 18回(新型コロナウイルスの影響により4回中止) ・総貸出冊数:1,892冊 ・総利用者数:362人 ・提供図書数:約500冊 図書館本館で貸し出しを受けたCD等の返却や予約も可能。	令和2年度実績			令和元年度実績				
	令和3年度目標			予算額			600 千円	
	移動図書館専用車で毎週日曜日 月4回 伊野田・明石・平久保公民館、崎枝・川平・下地(野底)公民館の6ステーションを巡回(新型コロナウイルスの影響により8月からスタート) ・巡回日数:32回 ・貸出冊数:3,500冊 ・総利用者数:約700人 ・提供図書数:2,500冊							
【点検評価】								
区分	評価の説明						評価凡例	
内部評価	【成果・課題等】 遠隔地であることから図書館へ足を運びづらい北西部地区へ本を届けるため、毎月500冊の図書を提供してきた。2011年度(平成23)から10年間で、延べ11,748冊、2,135人に貸出しを行った。軽ワゴン車のため、巡回するごとに職員が公民館で本の上げ下ろしと展示を手作業で行い、各地域の細かなリクエストに応じてきた。令和3年度から2,500冊搭載の専用車が導入されるため、今後図書購入費の確保が課題となる。						S: 計画以上 (101%以上) A: 計画通り (70~100%) B: ある程度 計画通り (50~69%) C: あまりうまく いっていない (30~49%) D: うまくいって いない (29%以下)	
	A							
外部評価	財源確保に苦労する中、ふるさと納税を活用するなど、職員の努力によって市内北西部地区への移動図書館事業が推進されている。住民の細かなリクエストにも応えるなど、遠隔地の利用者に対する図書館サービスに尽力しており評価したい。今後、行政相談や納税相談等と組み合わせた各集落への巡回についても検討してほしい。							
	A							

事務事業点検評価シート

石垣市教育委員会

【基本情報】							
評価年度	令和3年度(令和2年度事業)		主管課	図書館			
事務事業名	耳学問						
施策体系	主要施策	5 家庭・地域の教育機能の充実[社会教育の充実]					
	施策項目	(8)図書館活動の充実					
【事業概要】							
(1)対象	一般市民						
(2)目的	地元に残る古文書について学び、先人たちが書き記した貴重な郷土の記録を読み解くことで、さらに八重山への興味関心を高める機会とする。						
(3)目的達成のための手段(事業内容)	八重山に残された数多くの古文書を、翻刻・意識した市史編集課が発行する『市史叢書』シリーズをテキストに用い、勉強会を開設。古文書研究を続ける地元講師を迎え、解説していただく。受講生を年度初めに募集し、年間を通して連続講座を実施する。						
(4)成果目標	生涯学習を支える図書館の主催講座を受講することにより、郷土への知識・理解を深める。						
(5)根拠法令等	図書館法 第三条六						
【事業実績・目標】							
令和2年度実績	決算額	120 千円		令和元年度実績	決算額	136 千円	
開講数:15回(毎月2回、19回開催予定のところ新型コロナウイルス感染防止のため4回休講) 受講者数:26人(新型コロナウイルス感染防止のため定員制限) テキスト:『石垣市史叢書24』参遣状4(喜舎場永珣旧蔵史料)石垣市史編集課:発行			開講数:17回(毎月2回、22回開催予定のところ新型コロナウイルス感染防止のため5回休講) 受講者数:26人(新型コロナウイルス感染防止のため定員制限) テキスト:『石垣市史叢書6』山陽姓大宗・上官姓大宗・長栄姓小宗・錦芳姓小宗・各家譜)石垣市史編集課:発行				
			令和3年度目標	予算額	128 千円		
			開講数:16回(新型コロナウイルス感染症防止のため8月スタート) 受講者数:25人 テキスト:『石垣市史叢書25』参遣状4(喜舎場永珣旧蔵史料)石垣市史編集課:発行				
【点検評価】							
区分	評価の説明				評価凡例		
内部評価	【成果・課題等】 貴重な史料を活字化し意識をつけた『石垣市史叢書』シリーズは、他に類をみない特筆すべき出版物である。その叢書をテキストに用い、古文書原本の複写資料とあわせて学ぶ本学習会は、平成14年から18年間継続している。県内でも一級史料とされる古文書が身近になることで、より深く郷土について学びたいという市民の学習要求に長年応え続けている。比較的高齢の受講生が多いため、今後若い世代への広報にも力を入れていきたい。				S:計画以上(101%以上) A:計画通り(70~100%) B:ある程度計画通り(50~69%) C:あまりうまくいっていない(30~49%) D:うまくいっていない(29%以下)		
	A						
外部評価	市史編集課で発刊された叢書をテキストとして活用した学習会が長年に渡って継続され、市民の学びの場となっており評価したい。石垣市史叢書という難しそうなイメージが耳学問という柔らかい名称にすることで市民の興味を高めることへと繋がっている。今後は若い世代の受講者が増えるような取り組みを期待したい。						
	A						

3 外部評価委員による総評

新崎洋子

今年度の石垣市教育事務点検評価外部委員に委嘱され、令和2年度事業事務についての外部評価に携わらせていただいた。

教育委員会が実施している数多くの事業の中から19事業を選定しての点検作業であったが、各課担当者からのヒアリングをとおして、各事業の課題解決や目標達成に向けて真摯に取り組んでこられたことを知ることができた。

教育総務課、学務課においては、登下校防犯カメラ整備事業や、学校施設耐震診断事業等に取り組み目標達成がなされている。防犯カメラについては、希望している学校に設置しているが、希望しない学校も存在するということである。児童生徒の安心・安全を図るうえからも未設置校と連携をとりつつ防犯カメラ設置に向けて取り組んでいただきたい。また、耐震改修設計に基づき耐震改修工事も円滑に進めていただきたい。

学校教育課の事業で大きな成果が得られているのが「教員採用試験対策事業」である。ニーズの大きかった教員採用試験対策に取り組み、多数の合格者を出している実績を高く評価したい。

各学校がそれぞれに取り組んできた学力向上対策を、「信泉プロジェクト『勇気づけの教育』」として一体化し、より効果をあげていることを評価したい。学校現場への積極的な働きかけや新聞投稿等により、教職員や保護者、一般市民に対する「勇気づけの教育」の浸透が図られたものとする。新聞投稿記事からポイントを押さえて冊子にまとめ教職員に配布することで、各学校における継続的な取り組みに繋がらねないだろうか。

「気になる子の健やかな学び支援事業」では、臨床心理士による専門的な立場からの説明や助言の場が確保され、事後のアンケートによる満足度も100%という結果が出ていること、次年度の支援体制構築にもスムーズに繋がられていることは、本人はもとより、保護者・担任にとって心強いことである。

「学ぶ意欲・わかる授業を支援する事業」では、多くの学校教育支援員・外国語学習支援員が学校現場に配置されている。そのことにより、児童生徒への個別支援体制が整えられ、学習意欲の向上に繋がっていることを評価したい。今年度の全国学力テスト結果が公表されたが、ここにも成果が現れているものとする。さらに授業改善の工夫がなされ、支援員のより効率的な活用が図られることを期待したい。

適応指導教室では、個に応じた支援体制が整えられ、計画的な支援指導が図られたことを評価したい。在籍した中学3年生が全員進学できたこともすばらしいことである。進学後の通学にも繋がっているのであれば、今後の適応教室にも活かせる成果である。

本市には極小へき地校が存在する。児童が少人数であることや複式学級であること等から派生する課題も多い。その一つである「集団での学び」ができるように設定され、継続されているのが、北西部地区校における「集合学習」である。音楽や体育、外国語の学習をとおして、多人数で学ぶ楽しさを味わうとともに、社会性や協調性を培う貴重な機会ともなっている。

今後は、もう一つの課題である国語・算数などにおける「練り合い・学び合い・高め合う場」の設定にも取り組んでいただきたい。これまでは指導案作成等のための時間確保が困難なこともあり実施が難しかったが、オンライン会議ができるようになった今なら可能ではないだろうか。また、各校をつないだオンライン授業も可能ではないだろうか。ぜひ挑戦してもらいたい。また、各小規模校における創意ある教育課程の編成・実施にも指導力を発揮していただきたい。

いきいき学び課においては、生涯学習という広い分野を担当しながら、義務教育における不登校児童への対応をも担っておられる。スクールライフサポーターの配置や対象児童生徒の居場所づくり等々、本人や保護者、学級担任との信頼関係を深めた取り組みにより不登校率の減少が図られてきていることは喜ばしいことである。

公民館管理・文化会館管理等老朽化した施設や備品の活用に難渋しておられることも知ることができた。石垣市平得公民館長寿命化計画が円滑に推進されることを期待したい。

青少年センター部分は利用者のためエアコンのクリーニング等可能な範囲での施設管理に配慮していただきたい。

文化財課からは文化庁からの補助金を活用した宮良殿内保存修理・庭園保存修理事業の計画が進められていることを伺った。しっかりとした財源確保により重要文化財の維持・管理が計画通りに推進されることを願いたい。

市史編集課では、開拓移民地区から編集委員を選任する等の体制を整え、石垣市戦後開拓移民編集・発刊事業に取り組んでおられる。開拓移民一世の高齢化は進み、存命者も少なくなっている現状がある。聞き取り調査の工夫を図り事業を進めていただきたい。

博物館では沖振交予算を活用して、選択された所蔵資料の修復・デジタル化など、適切な保管に計画的に取り組んできている。さらに展示・公開等も進めてきている。今後も適切な調査・研究・保存に取り組んでいただきたい。

民間委託業務として取り組んでいる給食センターでは、コスト面、安心・安全面からも効果が得られていること、給食内容も高評価であることを伺った。これからも児童生徒の健康に関わる事業であることを強く意識して取り組んでいただきたい。パン配給の課題も早期解決が図られるよう努力していただきたい。

図書館においては、職員の努力により市内西北部地区への移動図書館事業が推進されてきている。軽ワゴン車利用で難渋しながらも住民の細かな要望にも応えるなど、遠隔地の利用者に対する図書館サービスに尽力している。その努力が実り、ふるさと納税の活用で専用車購入（令和3年度）ができたことは喜ばしいことである。また、市史編集課発刊の叢書をテキストにした「耳学問」講座も継続され、市民の学びの場となっている。若年層への広がりも期待したい。

令和2年度はコロナ禍となり、各事業の推進には大変なご苦勞があったことが拝察され、頭が下がる思いがする。中止せざるを得ない項目があったことも理解できる。

事業の推進には予算確保が重要である。これまで沖振交予算を活用した様々な事業が大きな成果を生み出している。教員採用試験対策・学習支援員配置・スクールライフサポーター配置・臨床心理士等の専門家の安定任用等は、本市の将来を担う「人材育成」に大きく関わるものである。次年度の沖振交予算が確定されていない今、次年度事業実施の目処

が付かず各担当課でも不安を抱えておられる。市・市議会におかれては予算確保に向けて全力で取り組んでいただきたい。教育委員会職員の皆様には目的達成にさらなるご尽力を期待したい。

最後になるが、より適正な事務点検評価のため、評価区分や評価の仕方について見直す必要はないだろうか。ご検討を願いたい。

教育事務点検評価外部評価委員としての総評を述べるとします。

行政は絶え間なく日々研鑽し、住民サービスに努める事を旨とし、職員は毎日の業務において公僕としてのマインドを高めていく努力が必要である。その事が、今回の事務点検評価を実施する目的だと考えるが概ね高評価である。

評価内容については、事業ごとの「外部評価のまとめ」において詳細するものとして理解して頂きたい。

まず基本的な部分での疑義について申し上げたい。評価のランク分けにおいて、Bは20点幅に対し、Aは31点幅となっており、上位評価のAに誘導する偏重型の評価スタンスになっており、高評価を生み出す仕組みと評しても過言ではない。

次に、内部評価において、文化財課の予算がゼロベースなので、評価なしとの結果であったが、そもそも事業名をきちっと挙げている訳であるので、予算がゼロであっても、事務レベルでの準備作業があったり、国・県との事務協議を行ったりしており、それはそれで評価すべきであると考えます。

この事は教育委員会としての基本的定義づけであるので、予算が付かないと評価しないのか、それとも予算なしでも評価すべきなのか統一見解が求められる。

次に、あらゆる事業において、沖振交予算があるがゆえに取り組める教員採用試験対策事業や「学ぶ意欲がわかる授業」を支援する事業等々はとても素晴らしい実績を出現しており、喜ばしい限りである。

沖振交予算が本年度で終了する時限措置である事から、市長・市議を先頭に次年度以降も確保できるよう、ご奮闘をお願いしたい。

次に、現代の教育現場において、いじめ問題や不審者出没問題、スマホに絡む事件等々で児童生徒の心のケアに欠かせない臨床心理士の確保に苦勞している様であるので、市長にもその重要性を認識して頂き、最優先課題として取り組んでもらいたい。

いきいき学び課は生涯学習の拠点であるが、それに加え不登校対策事業も併せて担当するには負担が大きい様に思えるので、行政改革や組織改編の中で解消して頂きたい。

市史編纂は地味だが、後世に残すべき重要な業務だと考える。市史編集員の手当てや報酬が非常に低く、重要なお仕事に見合う額とは言いがたく、ボランティア扱いで編集員のモチベーションを高めることはできないと思えるので改善が望ましい。

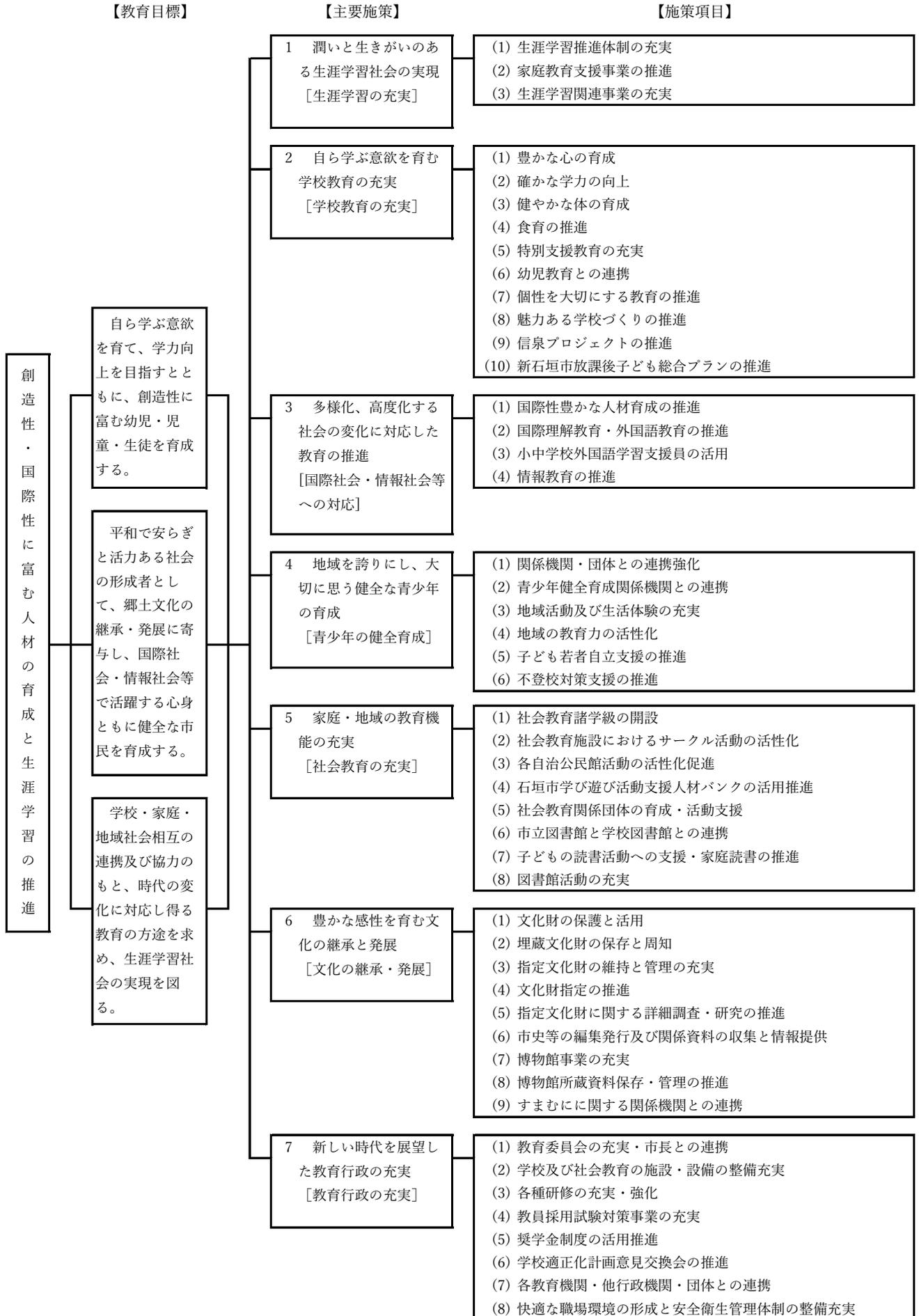
最後に、県学力到達度調査において、沖縄県の全体平均正答率の、小学校60%以上、中学校50%以上を確保できた事は何よりも素晴らしい実績であり、児童生徒及び教職員の努力に拍手を送りたい。

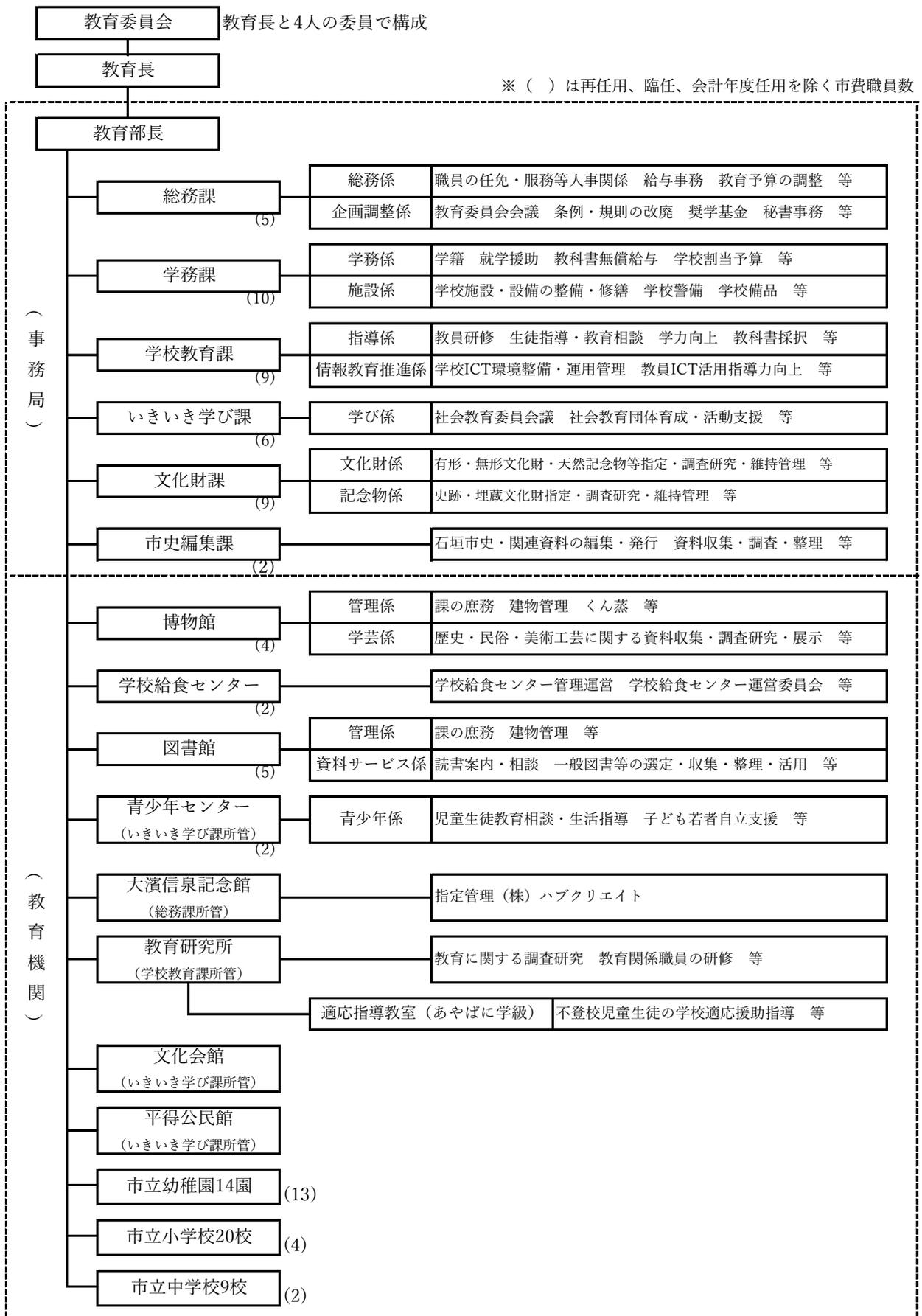
以上が概略の評価としたい。

めまぐるしく変化していく学校運営において学校現場を支えるのは事務局の事務方だと思いますので、頑張っで縁の下の力持ちになってもらいたい。又、各課の取り組み状況も概ね良好であり、今後の業務改善と更なるご精励に期待して総評とします。

【資料】

令和2年度 石垣市教育委員会教育主要施策体系





石垣市教育事務点検評価実施要綱

平成 21 年 1 月 30 日
教育委員会告示第 1 号

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和 31 年法律第 162 号)第 26 条に規定する教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等(以下「教育事務点検評価」という。)を行うことについて必要な事項を定めるものとする。

(教育事務点検評価委員会)

第 2 条 教育事務点検評価は、教育委員会を主体とし、点検及び評価の業務を的確かつ円滑に執行するため、教育事務点検評価委員会(以下「点検評価委員会」という。)を置く。

2 点検評価委員会は、教育部長、石垣市教育委員会事務局組織規則(平成 15 年石垣市教育委員会告示第 10 号)第 5 条に定める事務局の課の長、博物館長、学校給食センター所長及び図書館長をもって構成し、委員長に教育部長、副委員長に総務課長をもって充てる。

3 委員長は、点検評価委員会を代表し、その事務を総理する。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その事務を代理する。

5 点検評価委員会の運営その他必要な事項は、委員長が別に定める。

(点検及び評価する事務)

第 3 条 教育事務点検評価で点検及び評価する事務は、教育委員会の権限に属する事務(教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。)で、前年度に執行されたもののうちから点検評価委員会が抽出した事務とする。

(点検及び評価の時期)

第 4 条 教育事務点検評価は、前年度決算後速やかに実施するものとする。

(点検及び評価の方法)

第 5 条 教育事務点検評価は、第 3 条の規定により抽出した事務を、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める組織が行うものとする。

(1) 内部評価 点検評価委員会

(2) 外部評価 教育事務点検評価のために置かれる外部評価委員会

(外部評価委員会の設置)

第 6 条 教育委員会は、事務の点検評価に関し、その客観性の確保を図るため、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するものとする。

2 前項の学識経験を有する者の知見を活用するため、外部評価委員会を設置する。

3 外部評価委員会は、2 人の委員で組織する。

4 外部評価委員は、次に定める者の中から教育委員会が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) その他教育委員会が必要と認めた者

5 外部評価委員の任期は、委嘱の日から委嘱の日の属する年度の末日までとする。ただし、再任を妨げない。

6 外部評価委員の報酬は、石垣市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例(昭和47年石垣市条例第70号)別表に掲げる法又は条例による審議会等の委員に委嘱された者の報酬額に準じるものとする。

(報告書の作成)

第7条 教育事務点検評価の結果に関する報告書(以下「報告書」という。)は、点検評価委員会が作成し、前条に規定する外部評価委員会の意見を付して、教育長が教育委員会に付議するものとする。

(報告書の提出及び公表)

第8条 報告書の議会への提出は、12月定例会に行うものとする。

2 報告書は、前項の提出を行った後、速やかに石垣市のインターネットホームページで公表するものとする。

(結果の活用)

第9条 教育事務点検評価の結果は、教育行政の計画立案、事務の改善、効率化等に活用するものとする。

(その他)

第10条 この要綱に定めるもののほか、教育事務点検評価の業務に必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成22年教委告示第10号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年教委告示第3号)

この要綱は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成26年教委告示第18号)

この要綱は、公布の日から施行する。

附 則(平成27年教委告示第5号)

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(平成28年教委告示第20号)

この要綱は、公布の日から施行する。

令和3年度
石垣市教育事務点検評価報告書
(令和2年度事業対象)

令和3年11月発行
石垣市教育委員会
沖縄県石垣市字真栄里672番地
TEL 0980-82-2604
FAX 0980-82-0294
